

発行日；平成25年11月25日 発行者；起連区地域づくり協議会

【10月26日びさいまつり】六斎ばやし

昨年とは違って変わって、快晴の「びさいまつり」でした。今年の特徴はなんといっても「中学生」の指導力。キビキビとした指導、それに従う小学生。すばらしい演奏となりました。「家庭でのしつけもいいんだろうな～」

現在小学生のみなさんも、いいお手本ができましたので、中学生になっても続けてくださいね。



保存会のみなさんも大活躍！

町会長を主体としているので、毎年半数近くのメンバーが変わりますが、町会長を卒業しても保存会に残っていただいている方が多くみえます。「六斎ばやし」をこよなく愛してくださっています。なかには10年15年と頑張っている方もみえます。「起の街が好きなんだな～」

このように多くの人に支えられ「六斎ばやし」は引き継がれて行くことと思います。

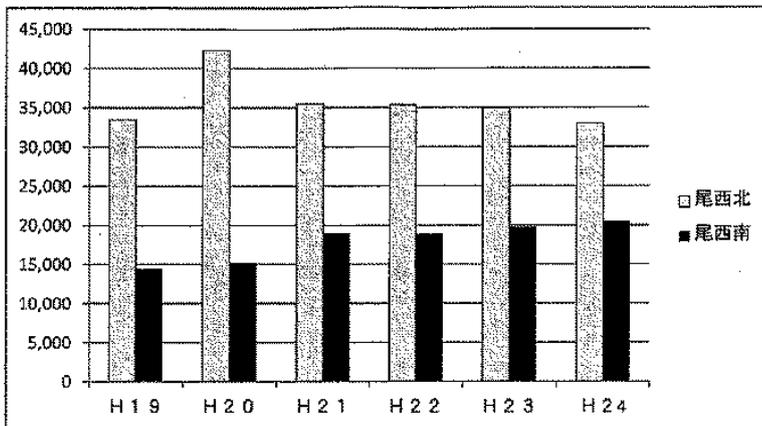
これからも、ご声援をよろしくお願いいたします。

【i-バス・名鉄路線バス】の利用促進

i-バス 尾西北・尾西南コース 利用者数推移

利用者数(H19は7月～3月の9ヶ月間の実績)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24
尾西北	33,481	42,300	35,465	35,359	34,965	33,025
尾西南	14,475	15,235	19,004	18,910	19,753	20,480



左のグラフは「i-バス尾西北コース白っぽい線」と「尾西南コース黒っぽい線」、起地区を通るi-バスは尾西北コース。バス停は尾西歴史民俗資料館と起郵便局の2ヶ所です。

北コースの乗降客数は伸び悩んでいます。尾西片舎へは、バス停から5分で行けます。大いに利用しましょう。(帰りは名鉄バスが便利かな)

ただ今、i-バスの運営協議会を立ち上げています。i-バスに関するご意見ご要望がありましたら、連区長までお知らせ下さい。

また、名鉄バスの利用状況は、平成18年の起線では年間155万人の利用がありました。平成22年には140万人に減っています。起地区の重要な足であるバスをもっと利用してください。

一宮駅までの便数は、他のバス路線とは比較にならないくらい多く、便利な路線なのです。

起地区発展のために、ご利用をお願いします。

(尾西地域生活バス運営協議会)

【11月1日教養講座】社会見学

今年の教養講座社会見学は、掛川花鳥園と航空自衛隊浜松基地に行ってきました。お天気もよく最高の社会見学となりました。

始めは、花鳥園。入ってすぐ「なんでペンギンがいるの～」の一声！ はい！ペンギンも鳥です。大笑い

次はインコ！「なんで頭に乗るの！」「セットが乱れるじゃん」の一声！おまけにフン攻撃(^_^: 被害者2名クリーニング代は自分持ちだそうです。(俺のスーツが)(+_+)

インコやフクロウなど鳥の印象はすごくあったのですが、花は咲いていたのかな～ 社会見学落第(+_+)



花鳥園で女性が目を輝かせたのなら、航空自衛隊では男性が精力的に歩き回って、少年のように目を輝かせていました。



左の写真は早期警戒機です。タッチアンドゴーの練習を繰り返していました。

今回、初めて社会見学に参加しました。高齢者が対象ということで静かな会かな？と、思って参加しましたが、いえいえ賑やかにぎやか！元気いっぱい遠足でした。今年、参加できなかった方、「教養講座」に参加されていない方。是非来年は参加してください。とっても楽しく、ためになる「高齢者教養講座」です。

【11月17日公民館活動】三世代交流コミスポ大会

今日は公民館魅力事業部主催によるコミュニティースポーツ大会です。[カローリング]って知ってます？[ペタンク]ってわかります？誰にでもできる新スポーツなんです。カローリングは氷上スポーツカーリングの体育館仕様版駆け引きがあり、頭を使うので奥が深いんですよ。

参加者は約90名、なかよしチームを作りトーナメントで戦いました。決勝戦は逆転また逆転の競り合った力の入ったゲームとなりました。



「カローリング」優勝チーム：	渡辺秀・森茂・田中貢・橋本圭市	準優勝	加藤・加藤・野田・山川
「ペタンク」優勝チーム：	浅野遥平太・館野太志・上田治弥	準優勝	華奈・モエ・勘吉

先月号の訂正

趣味クラブ【詩吟の会】毎月第4日曜日の誤りでした 訂正してお詫びします

【12月の行事予定】

学校外活動

12月8日日曜日三世代交流もちつき大会 起児童館および起小学校屋内運動場

その他事業

12月15日日曜日 一宮南部方面隊起分団車庫竣工式

多くの方の参加をお待ちしています

コラム起

【町内会への加入】

先日、ある人から言われました。

「町内会に入っても、なにもメリットがない」

町内会の目的は、地方自治の末端組織です。古くから言われている「向こう三軒両隣り」の助け合い精神なのです。

「メリットがない」と言われる方。

「町内街路灯」を使っている方。

ごみの回収は役所の仕事ですが、回収を指導する立ち番役・回収場所の掃除等、

誰がやりますか？

火事や災害の時間がなばっている消防団の運営の一部

は町内会費から助成しています。

知らず知らずのうちには町内にお世話になっっているのです。

町内にはいろんな役があります。

ランティアで頑張っている方がみえます。役はでき

なくても、せめて町内会費で応援してください。

お願いします。